検査年月日

患者ID

患者氏名

生年月日

**MRI造影検査　問診･確認票**

検査年月日

患者ID

患者氏名

生年月日等

1. 今までに造影剤を用いたMRI検査を受けたことがありますか？　⇒ □なし　　　　□あり

 ・ありの場合、副作用「発疹、かゆみ、吐き気、頭痛など」はありましたか？

 (MRI造影剤の副作用歴がある方は、造影剤投与できません)

□なし □あり　（その症状： 　　　)

2. 気管支喘息がありますか？ (気管支喘息の方は、**原則禁忌**です。小児喘息治癒後の方は造影可)

□なし □あり　(現在の状態: )

3.アレルギー体質・アレルギー性の病気(花粉症・アトピー性皮膚炎など)･薬物過敏症等がありますか？

(ありの場合、**慎重投与**となります)

□なし □あり (病名･薬剤 )

4. 腎臓の機能低下がありますか？　(eGFR 30未満の場合ならびに透析中の方は造影**禁忌**、造影しません)

□なし □あり　 (ありの場合、eGFRは,$KEN02\_結果 ml/分/1.73㎥　 $KEN02\_検査日)

5．鉄剤過敏症またはヘモクロマトーシス等鉄過剰症と言われたことはありませんか？

　（ありの場合リゾビスト造影で**禁忌**）

□なし　　　　　□あり

6．女性の方のみお答え下さい。

　　 現在、妊娠していますか？　 □いいえ　　□はい　　□わからない

　　 現在、授乳中ですか？　　　 □いいえ　　□はい

　　 （授乳中の方は造影剤投与後、48時間は授乳をさけて下さい）

**紹介医師確認欄**

私は造影検査の必要性、危険性及び合併症などについて、当病院の造影検査説明書に基づいて患者に説明しました。また、放射線科医の判断より、単純ＭＲＩに変更する場合があることを了解します。

確認年月日：　　　年　　　月　　　日

施設名　　　　　　　　　　　　　　　　　　医師署名

検査年月日

患者ID

患者氏名

生年月日

**MRI造影検査　説明書**

**１．造影剤について**

　より正確に診断するための薬です。造影剤を使用した造影検査は、病気を正確に診断する上で現在欠かすことのできない検査になっています。造影剤を使用しなくても撮影することは可能ですが、造影剤を使用しなければわからない事も多く正確な診断をすることが困難になる可能性があります。

**２．造影剤の副作用について**

　この薬は安全な薬ですが、まれに次のような副作用が起こることが報告されています。

　軽い副作用：吐き気・動悸・かゆみ・頭痛・発疹などがありほとんどですぐに症状は治まり、通常心配はいりません。このような副作用の起こる確率は１％程度と報告されています。

　重い副作用：意識障害・血圧低下などがあり治療が必要で、入院する場合があり、後遺症が残る可能性もあります。この副作用の確率は、10万人につき1人程度、つまり0.001%程度とされています。また、病状・体質によっては極めて稀ですが、死に至る報告もあります。

　造影剤を注入する際に、血管外に造影剤が漏れる場合があり、 場合によっては注射針の刺し直しを行うことがあります。また，漏出した部位に脹れや痛みを伴う事がありますが、自然に吸収されるため通常心配ありません。漏れた量が非常に多い場合には、処置が必要になることがありますが、非常に稀です。

**3．検査時の注意**

　造影剤を注入中に針の所が痛い場合は、造影剤が血管外に漏れている可能性があり、すぐに放射線技師又は看護師にお知らせ下さい。また「気分が悪い」、「息苦しい」などの症状が現れた場合、造影剤の副作用の可能性があり、すぐにお伝え下さい。

**4．検査後の注意**

　検査終了後に生じる遅発性の副作用は少ないといわれていますが何か異常があらわれた場合には、当院にご連絡下さい。

　授乳中の方は造影剤が母乳中に移行しますので、造影剤注射後48時間は授乳を控えて下さい。

　※　造影剤に関する不明な点や、造影剤を使用したくないという場合には、同意書にご署名された後でも、ご遠慮なく医師・技師・看護師にお申し出ください。

**MRI造影検査 同意書**

　私は造影検査を受けるにあたり、検査の必要性や副作用の危険性などについて説明を受け、十分に理解しました。今回の検査で、造影剤の使用に同意します。また、副作用や合併症が起こった際の処置を受けることも併せて同意します。

 　 年　　　月　　　日患者または代理人(続柄　　　　） 署名

※同意されない場合は、以下に署名をお願いします。

 私は、造影剤使用に同意できません　　 署名